

3

特別養護老人ホームの設置、管理及び運営に関すること

経緯

年月	内容
昭和49年5月	長野市外17市町村により「長野地域老人福祉施設組合」を設立した。
昭和50年5月	信州新町（現長野市）に特別養護老人ホーム久米路荘を定員70人の施設として開設した。
昭和51年4月	「長野地域老人福祉施設組合」外2組合1協議会を統合「長野地域広域行政事務組合」を設立した。小布施町に特別養護老人ホーム小布施荘を定員70人の施設として開設した。
昭和55年4月	「長水老人福祉施設組合」が運営していた養護老人ホーム松寿荘の建替えに合わせ、併設施設として特別養護老人ホーム松寿荘を定員120人短期入所4人の施設として開設した。「長野地域広域行政事務組合」に「長水老人福祉施設組合」を統合した。
昭和58年4月	更埴市（現千曲市）に特別養護老人ホーム杏寿荘を定員70人短期入所4人の施設として開設した。
昭和59年4月	長野市に広域圏内で初の認知症対応居室を整備した特別養護老人ホーム七二会荘を定員70人短期入所4人の施設として開設した。
昭和60年7月	長野市地附山地すべり災害により養護老人ホーム松寿荘・特別養護老人ホーム松寿荘の施設が全壊し、移転した。
昭和61年4月	牟礼村（現飯綱町）に特別養護老人ホーム矢筒荘定員70人短期入所4人の施設として開設した。
昭和61年10月	災害復旧施設として長野市に養護老人ホーム松寿荘定員100人・特別養護老人ホーム松寿荘定員70人短期入所4人及び須坂市に特別養護老人ホーム須坂荘定員70人短期入所4人の施設として開設した。
平成8年4月	戸隠村（現長野市）に定員の6割を認知症対応とする、特別養護老人ホーム豊岡荘を定員50人短期入所10人の施設として開設した。
平成11年4月	特別養護老人ホーム久米路荘を信州新町（現長野市）町内で移転全面改築を行い、定員80人（うち認知症対応居室14人分）、短期入所者20人の施設として開設した。
平成12年4月	「長野広域連合」に設置運営主体が移行するとともに、介護保険制度が施行され特別養護老人ホームが介護老人福祉施設となる。
平成17年4月	特別養護老人ホーム小布施荘を現地で全面改築を行い、全室個室・小規模単位居住型施設として開設した。
平成20年2月	「長野広域連合高齢者福祉施設等在り方検討懇話会」から段階的に社会福祉法人化を行う旨の提言を受け、「長野広域連合高齢者福祉施設等第一次社会福祉法人化推進計画」を決定した。
平成22年4月	特別養護老人ホーム七二会荘を社会福祉法人長野南福祉会へ経営移管した。
平成26年4月	特別養護老人ホーム杏寿荘を社会福祉法人大志会へ経営移管した。

現状と課題

平成12年4月に介護保険制度が始まって15年が経過し、この間、法律改正や報酬改定など様々な制度変更が行われてきましたが、利用者の目線に立ちサービスの提供をするため、介護の重度化、増加する認知症への対応や専門的ケアの確立などの困難な課題を改善しながら、施設運営をしてきました。

平成15年4月から利用希望者の状況を総合的に判断し利用順を決定する入所検討委員会の制度が発足し、施設利用の必要性が高い方から利用いただけるようになりました。

平成26年6月の介護保険法改正により、平成27年4月から特別養護老人ホームへの入所は、原則として要介護度3以上に限定され、入所待機者が減少したものの、長野広域連合の入所待機者は依然として全施設合計で176人（平成27年7月1日現在）となっています。

また、平成19年1月に有識者による「長野広域連合高齢者福祉施設等在り方検討懇話会」から、段階的に社会福祉法人化を進めることが適当との提言を受け、長野広域連合高齢者福祉施設等第一次社会福祉法人化推進計画を決定し、平成22年4月に長野広域連合の最初の移管施設として七二会荘を社会福祉法人長野南福社会へ、また、引き続き平成26年4月には、杏寿荘を社会福祉法人大志会へ経営移管しました。

上記の第一次社会福祉法人化推進計画では、財政状況を十分考慮し、法人化を進めることとしていることから、2施設移管後の長野広域連合施設の決算状況や財政推計を十分に検証したうえで、移管の在り方を含め、関係市町村と協議しながら今後の社会福祉法人化推進計画の検討を行っていく必要があります。

併せて施設の管理運営については、健全な施設運営を維持していくために、施設の利用率の向上やコスト削減など、収支改善を進める必要があります。

また、利用者の処遇に当たっては、認知症を有する者や介護度の中重度の者が年々増加していることから、利用者に適切なサービスを提供できるよう、職員研修や体制づくりが求められています。

さらに、高齢者の自立支援に即した生活ができるよう利用者や家族の要望などを的確に捉えた介護サービスの提供をするとともに、地域に開かれた施設にするため、地域との交流、ボランティアの受け入れや介護教室の開催などを積極的に進める必要があります。

● 長野広域連合が運営する特別養護老人ホームの概況

施設名	所在地	認可年月日	定員(人)	短期入所 事業定員(人)	建物面積(㎡) 敷地面積(㎡)
松寿荘	長野市上野二丁目120-4	S55.4.1	70	4	5,565.13 18,922.33
久米路荘	長野市信州新町日原東2186-1	S50.4.28	84 (うち認知症14)	16 (うち認知症4)	4,330.00 14,741.34
小布施荘	上高井郡小布施町大字小布施857-5	S51.4.5	70	8	5,045.04 7,925.00
矢筒荘	上水内郡飯綱町大字牟礼2227	S61.4.1	72	8	2,343.17 8,573.00
須坂荘	須崎市大字塩野951	S61.10.1	70	8	2,662.50 8,294.99
豊岡荘	長野市戸隠豊岡1384	H8.4.1	50 (うち認知症11)	10 (うち認知症3)	2,141.96 9,116.20

● 関係市町村別 特別養護老人ホーム入所の状況

(単位：人)

施設名	定員	長野市	須坂市	千曲市	坂城町	小布施町	高山村	信濃町	小川村	飯綱町	施設計
松寿荘	70	66	1	0	0	0	0	0	0	0	67
久米路荘	84	79	0	0	0	0	0	0	3	0	82
小布施荘	70	20	16	0	0	28	3	0	0	2	69
矢筒荘	72	23	0	0	0	0	0	9	0	40	72
須坂荘	70	8	54	2	0	3	1	0	0	1	69
豊岡荘	50	48	0	0	0	0	0	0	0	1	49

平成27年4月1日現在

● 長野広域連合が運営する特別養護老人ホーム待機者状況

(単位：人)

	実数	延数
松寿荘	29	166
久米路荘	32	34
小布施荘	36	53
矢筒荘	36	98
須坂荘	19	44
豊岡荘	24	36
合計	176	431

平成27年7月1日現在

※延数：長野広域連合が運営する特別養護老人ホームへ重複して申し込みをしている人の延数

今後の方針

独居高齢者や認知症・中重度の要介護高齢者等が増加する中で、長野広域連合が行う高齢者福祉施設の役割を認識し、利用者が尊厳を保ちながら、その人らしい生活を送れる安全安心な介護サービスの提供を行っていきます。

また、施設運営については、多様化する利用者ニーズへの対応や老朽化する施設等の整備を図りながら、健全運営を行っていきます。

施策

- 利用者の個人の尊厳を保ちながら、その人らしい生活を送っていただくよう施設の居住環境の向上を図ります。
- 職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスの提供を図ります。
- 交流会、イベント開催、ボランティア・研修生の受け入れ、災害時の応援協定などを通じ地域社会との交流を積極的に行います。
- 特に介護度の中重度者や認知症を有する者の介護に当たっては、介護、医療、福祉などの関係機関と連携し、適正なサービスの確保やケアを図ります。
- 介護報酬改定など運営を取り巻く環境の変化に適切に対応し、施設利用率の向上やコスト削減などを図りながら、施設の健全運営に努めます。
- 施設の社会福祉法人化に当たっては、2施設（七二会荘・杏寿荘）移管後の財政状況等を検証し、健全運営を図りながら移管の在り方について検討し、対応していきます。
- 地域の高齢者等の避難・救援施設として機能できるよう、所在市町村と連携を進めます。